

今年度のインフルエンザワクチン接種について

当院では従来からの不活化ワクチンに加えて、2歳～18歳の方は本数限定ですが【点鼻生ワクチン】を選択することができます。

不活化ワクチンは皆様もご存じの注射でのインフルエンザ予防です。

不活化ワクチンは生後6か月～行えます。日本では12歳までの方には2～4週間間隔で2回接種が推奨されています。

今年度から新たに認められたものとして、点鼻生ワクチンがあります。

アメリカでは2003年から、ヨーロッパでは2011年から使用されており、今年度から日本で承認・販売されることになりました。

選定される株はWHO準拠となっており、日本の厚労省準拠と異なります。

点鼻生ワクチン『フルミスト』のメリットは、

鼻腔内にスプレーを行うだけであり、痛みを伴いません。

接種回数も1回（来院1回で両鼻腔にスプレーします）のみです。

また、注射ワクチンで誘導されるIgG抗体だけでなく、気道分泌型IgA抗体も誘導するため予防効果が高いと考えられています。

生ワクチンであるため、流行株と相違があったとしても発症を軽症化させる作用があるといわれています。

ただ、デメリットもあります。

接種後約60%の方に鼻汁・鼻閉症状、約6%の方で38度以上の発熱をきたすといわれています。

また接種時に鼻閉のある方では十分な免疫が誘導されない可能性もあります。

・フルミストを接種できない方

2歳未満、19歳以上

ゼラチン含有製剤又はゼラチン含有食品に対して、ショック、アナフィラキシー等の過敏症の既往がある方

慢性疾患を有する方

重度の喘息を有する方、または喘鳴の症状を呈する方

免疫不全の方、免疫不全の方と接触する機会のある方

妊婦または妊娠の可能性のある方

アスピリン内服中の方

重度の鶏卵アレルギーをお持ちの方

・今年の選定株

不活化ワクチン	(4価ワクチン)	厚生労働省準拠
A型株	ビクトリア/4897/2022(IVR-238)(H1N1)	
	カリフォルニア/122/2022(SAN-022)(H3N2)	
B型株	プーケット/3073/2013(山形系統)	
	オーストラリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)	
フルミスト	(3価ワクチン)	WHO 準拠
A型株	ノルウェー/31694/2022(H1N1)	
	タイ/8/2022(H3N2)	
B型株	オーストラリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)	

フルミストの接種料金は **8000円**です。

予約のみでの受付となります。

不活化ワクチンは1回目 **4000円**、2回目 **3000円**です。

予約せずに接種できます。